

令和元年高知県小規模林業推進協議会第2回協議会「現地検討会」議事録

- 日時 令和元年11月19日（火）
- 場所 三原村農業改良センター
- 見学地 フォレストファーマーズ下切 施行地
- 出席者 48名

- 1 開会
- 2 会長挨拶

(中嶋会長)

今年、高知には豪雨や台風は直接は来なかったですが、全国的にはすごい被害がありました。さっき農林水産省のHPで台風19号だけの被害を見たんですけど林道で1万カ所以上、林野関係全体の速報値で791億ぐらいでています。1万カ所って林道だけですから作業道も入れたら3万カ所ぐらいになるんじゃないかと。

最近の台風は室戸台風並みのものが来てますので、それを頭に入れて作業をしないといけない。台風15号の被害を受けて千葉県に調査に行きましたが、木が倒れた山はほぼ間伐していました。未整備の全く切っていない山は全然倒れていない。被害を受けた山に木が何本あるか調べたら約500本でした。45年の杉で500本ですから相当過伐です。

去年鳥取県も西日本豪雨を受けたのですが、知ってる自伐林家が二十数人おるんですが、彼らの山は一カ所も崩れていない。やり方によって差が出てきますので、よくその技術を学んでいただきたいなと思います。それを伝えられるように、何か努力はしたいなと思っています。

- 3 フォレストファーマーズ下切 宮川氏挨拶

(宮川)

皆さんこんにちは。

この組織を立ち上げて3年目で、平成29年3月に組織を立ち上げました。その中で飯を食わんといかんということで、約4、5名で活動しています。下切という集落は家が20戸足らずになり、人口もどんどん減って高齢化率も上がっていますが、そこで何とか暮らしを立てていく上には、何かしらお金に変わるものと考えながら農

業、林業、特用林産を手がけています。

農業の分野では今年はお米を無農薬で栽培しましたが、計画をした分ほど収量は取れませんでした。何とか100袋近いぐらいのお米を出荷しました。来年は今年のノウハウを生かして収量を増やして、赤字を出さないようにと思っています。

林業では僕らはずぶの素人で、3年前に始めた時に、チェーンソーを握ったことがない人も、協議会の中で資格を取らせてもらったんですが、一番怖いのが事故です。どうしても機械を使うことになりまして、僕が60年間土木の仕事とかいろんな仕事、トンネルの仕事もしてきましたけど、山で伐採という作業が一番危険かなという気がします。その危険なもしかしたら死んでしまう作業をする中で、フォレストファーマーズという組織で、3、4人で山に行って作業をするわけですが、今までしてきた仕事と比べると非常にストレスが少ないです。山の中で開放的なところで仕事をするのは、精神的なストレス感が非常に少なく、工場とかトンネルで働くのとは比べると非常に気持ちがよく一番やりがいを感じるころかなと思います。これからも、とにかく事故がないように、給料をちょっとでも多く貰えるようにと考えています。